



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.24
(通巻207号)
令和2年(2020)
3月2日(月)

『学校評価アンケート』結果報告

校長 飯野 博史

3月、本格的な春到来となりました。暖冬の影響で、都内の桜の開花が今月14日頃という予想が出ているようです。

例年ですと、心がうきうきするこの時期ですが、新型コロナウイルスの感染が広がり、不安な毎日が続きます。目黒区公立学校でも、明日から3月25日(水)まで臨時休業という措置をとります。生徒たちには臨時休業になった意味を考え、感染予防に努めるよう指導しました。ご家庭でも、臨時休業期間中の見守りをよろしくお願いいたします。

さて、昨年11月に生徒、保護者、地域の方、教職員を対象とした「学校評価アンケート(四者評価)」を実施しました。保護者の方から237通の回答をいただきました。これは全家庭数の約92%にあたります(昨年度は約98%)。たくさんの回答ありがとうございました。保護者の方々の学校に対する期待や関心の高さを感じ、身の引き締まる思いがします。厳しいご意見もいただきましたが、学校に対する応援ととらえ、来年度の教育活動に生かして参ります。

保護者の方からのご意見を一部紹介します。

【学校全体について】

・全体的に落ち着いて学習や行事に取り組むことができていると思います。学校生活が楽しい様子が生徒たちを見ていると分かります。・とても落ち着いた雰囲気の中、学習、委員会活動や部活動に専念できる状況をつくり出してくれています。もう少し、保護者が参画できる、参加したいと思う活動を増やしても良いと思いますので、一緒に考えていきたいです。・教師の子どもへの指導は、規則で締め付けたり、強圧的なものでなく、生徒一人一人が自ら考え、目標に向かって進めるよう見守ったり、励ましたりするものであってほしい。

【教育目標について】

・「考えて行う」は一生大切なことなので、しっかり身に付けてほしいと思います。・教育目標に対して、自分の子供がどの程度できているのかは不明だが、他の子供たちを見ていると人間性豊かな子が多いと感じます。・教職員の目標「一人一人を大切に＝親切、丁寧、誠実」大変望ましいですが、これを実際に行っている先生とそうでないと思われる先生がおり、非常に残念です。・本人のやる気が大事で、向上心を養えるように指導していただきたいと思います。これからの世の中、人と人との関わりが薄くなっていくように感じます。思いやりを大切にしたいと思います。

【心の教育について】

・心を育てる教育はとても重要です。日常生活の一つ一つからも、身近な同級生に対する思いやりの心を育ててください。・中学生になり、ガミガミ言うことが増え、一緒に過ごす時間も減りました。自分がどうやって産まれてきたのか、多くの奇跡と愛情があって今ここにいることを感じられる「命の授業」があって良かったと思います。・SNSの使い方などに対して、もっと子供たちが真剣に考える機会をつくった方が良いのではないかと思う。簡単に人を傷つけたりできる道具だということを理解していない子供もいるのではないかと思う。

【学習指導について】

・ウィークエンドスクールなど補習をやっていただいととてもありがたく思っています。授業だけでは学習についていけない生徒もいますので、これからもどうぞよろしくお願いします。・補習等が充実して基礎・基本を着実に身に付けられるのではと思います。グループでの話し合いの授業も充実して、思考力・判断力・表現力の成長の場になっていると思います。・先生によって理解ができなかったり、結果学力（得点）が落ちるということも見られる。それぞれ、教科に興味湧き、やる気が起きるような教育方法を工夫していただけたらと感じます。

【体育・健康教育について】

・一年を通して、運動会、区連体、駅伝大会など、目標となる取組があり、また保健だけで食育を促していいと思います。・昔と比べ、危険を避けた教育方法が多いと感じています。それが悪いとは思いますが、危険を知らせないと加減が分からないのではないかと不安になります。・学生服についてですが、最近の日本は異常気象で、夏は特に猛暑続きです。同じ区立中学で夏服のポロシャツの学校があります。八中もポロシャツにしてはどうですか？過ごしやすい気がします。

【特別活動について】

・運動会、学習発表会に生徒の実行委員会制をとって、運営していけるようなバックアップを先生方がしてくださり、子供自身、自分たちで頑張っている！と感じさせていただき、ありがたい。・統合の予定もあるようなので仕方ないと思いますが、部活動は外部指導員を入れるなりして選択肢が増えるといいのに、と思います。特に女子の運動部の選択肢が少ないと思います。・生徒会活動を通して、子供本人は大きく力を伸ばしてもらいましたが、学校全体にとって、もっと新しいことに挑戦し、新たな風を起こすような生徒会であれば、より学校のためになったのではないかと思います。

【学校生活全般について】

・「学校に行きたくない。勉強ができないので授業が苦痛だ」という言葉にも大変良く耳を傾けてくださって、安心してお任せすることができます。・子供は毎日学校へ楽しく通っている。公開授業などで学校へ行くと、他学年の生徒も挨拶をしてくれるなど、穏やかに落ち着いていて、明るい雰囲気が良い。・休み時間も元気に外で遊んでおり、いいと思います。「がんばることはダサい」的にもなる時期なので、皆で盛り上がり、協力できるといいですね。・教科書、副教材を入れる通学カバンが非常に重くなり、成長期の体への負担を考えると心配である。

【情報の発信、家庭・地域との連携について】

・メールやインターネット、お手紙などで、情報を分かりやすく伝えていただいています。・毎日更新していただいている学校のＨＰから校長先生の子供たちへの愛情が伝わってきて、とても感謝しております。また、バザーでボランティアをさせていただいたり、地域との連携をしていただき、ますます地元愛が深まっていると思います。・世の中は情報を積極的に伝えるように変化しているが、学校は何年も同じように紙ベースで月１回同じもので発信している。せっかくメールのシステムがあるので、もっと広い範囲で活用してみてもいいのではなかろうか。

【特色ある教育活動について】

・様々な人権に関する講演会を開いてくださり、貴重な経験ができています。中学生には分かりにくいこともあるかもしれませんが、大人になって振り返ると、あの時こんな話を聞いた、と思い出すことがあると思います。・Ｅ組との交流は、子供たちに人権の大切さを学ぶ良い機会だと思いますので、今後も積極的に交流していただきたいと思います。・「朝の読書」はとても素晴らしい教育活動だと思います。本との出会いは一生の宝だと思います。忙しい毎日だとなかなか本を読む時間の確保が難しいと思うので、毎朝自分が好きな本を読める環境で中学校生活を送れることは、生徒たちの人生において宝になると思います。

※ 次号はＨＰでアンケートの集計結果と来年度への改善点をお知らせします。